

【筆耕】（くずし字の書きおこし）

（前略）

右之通去ル申年々来ル已歳迄、拾年賦定免御取箇申付候間、村中大小百姓立会

無<sub>二</sub>高下<sub>一</sub>渡<sub>レ</sub>割、書面之米永無<sub>レ</sub>滞

極月十日迄可<sub>二</sub>皆済<sub>一</sub>、若於<sub>レ</sub>令<sub>二</sub>難渋<sub>一</sub>者

急度可<sub>二</sub>申付<sub>一</sub>者也

享保十五戌年十月 岩手藤左衛門印

右村

名主

組頭

惣百姓

読み方に注目

・無<sub>二</sub>高下<sub>一</sub>…こうげなく

・無<sub>レ</sub>滞…とどこおりなく

・可<sub>二</sub>皆済<sub>一</sub>…かいきいすべし

・若於<sub>レ</sub>令<sub>二</sub>難渋<sub>一</sub>…もしなんじゆうしむるにおいて

※返読に注意！

この文字に注目！

・年の書き方

同じ字でも書き順が異なることで、かたちが全く異なるくずし字になります。



横棒から書く！



縦棒から書く！

・返読文字

返読文字は、頻出する語、文章で覚えてしまいましょう。繰り返し読み音で覚えることも大切です。

○無（なし）

無高下



無滞



○令（しむる）

令難渋



ほんの一部ですが、くずし字の読み方のヒントをご紹介します。興味がおありの方は『東村山市史研究』二十五〜二十七号掲載の「史料紹介」にも文書資料を紹介しておりますのでご覧ください。

また、当館では「古文書講座入門編」等講座も開講しております。詳しくは職員までお尋ねください。